

公益財団法人 日本サッカー協会  
2016年度 第8回理事会

## 協議事項

<p>1 日本女子フットサルリーグ設立の件</p> <p>一般財団法人日本フットサル連盟（以下、JFF）は、JFF および公益財団法人日本サッカー協会（以下、JFA）の主催で日本女子フットサルリーグを新たに設立し、年度期中開催のため、2016年度はプレ大会の位置づけとし、下記のとおり開催したい。</p> <p>なお、本事項については2016年6月5日のJFF理事会にて決議され、2016年6月28日のJFAフットサル委員会において承認されたものである。</p> <p>&lt;日本女子フットサルリーグ概要&gt;</p> <p>名 称：日本女子フットサルリーグ 2016 プレ大会</p> <p>主 催：公益財団法人日本サッカー協会、一般財団法人日本フットサル連盟</p> <p>主 管：開催都道府県サッカー協会、開催都道府県フットサル連盟</p> <p>開催期間：2016年10月9日(日)～2017年1月15日(日)（予定）</p> <p>大会形式：セントラル方式による1回戦総当たりリーグ戦</p> <p>会 場：仙台市／ゼビオアリーナ仙台、名古屋／テバ・オーシャンアリーナ、静岡／エコパアリーナ、浜松アリーナ（会場は予定。最終調整中）</p> <p>入場料金：無料</p> <p>2016年度参加6チーム（地域/都道府県）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SAICOLO（関東/埼玉県）</li> <li>・府中アスレティックFCプリメイラ（関東/東京都）</li> <li>・バルドラール浦安ラス・ボニータス（関東/千葉県）</li> <li>・丸岡RUCKレディース（北信越/福井県）</li> <li>・Futsal Clube UNIAO Ladies（東海/愛知県）</li> <li>・arco-iris KOBE（関西/兵庫県）</li> </ul> <p>（チーム名は2016年6月末時点）</p>
<p>2 サッカーチームフットサル登録制度 大学チーム追加の件</p> <p><b>（協議）資料No.1</b></p> <p>2013年10月理事会において承認されたサッカーチームフットサル登録制度（別添参照）の適用範囲について、現行のU-18、U-15、U-12のカテゴリーに加え、同一大学の学生により構成される第1種登録のチームを新たに拡大したい。</p> <p>&lt;新たに拡大する範囲&gt;</p> <p>下記の大会に限り、同一大学の学生により構成される第1種登録のチームを、サッカー第1種登録種別のままフットサル競技会に出場することができるようにする。</p> <p>①本協会主催全日本大学フットサル大会</p> <p>②一般財団法人日本フットサル連盟主催地域大学フットサルリーグ</p> <p>（ただし、②については一般財団法人全日本大学連盟加盟チームに限る）</p> <p>理由：若手選手の育成、強化の一環として、大学年代の公式戦出場を増やすため</p>

## 3 エリートプログラムU-13 トレーニングキャンプ 海外遠征の件

9月16日(金)から18日(日)にスペインのマドリードで開催されるU-13 Madrid Football Cup Alcobendas Edition大会に、エリートU-13を参加させたい。

## 【目的】

育成年代から海外に行き、大会等に参加することが重要なこと、また、U-13年代では海外遠征もなく、かつJOC日韓交流(国内)以外に国際試合の経験がないことから、U-13年代のトップの選手に海外での経験を積ませることを目的とする。

## 【2016年度エリートプログラム予定・実績】

U-13 国内キャンプ2回、JOC日韓交流(国内)

U-14 国内キャンプ1回、JOC日韓交流(大韓民国)、AFC U-14 フェスティバル、  
欧州遠征(4 Nation Tournament U-14・オランダ)

## 【遠征】

日 程 9月14日(水)～20日(火)

人 数 選手18名、スタッフ5名

## 【大会概要】

大会名 U-13 Madrid Football Cup Alcobendas Edition

日 程 9月16日(金)～18日(日)

場 所 スペイン マドリード

対戦予定チーム

スポルティング・リスボン(ポルトガル)、ラーヨ・バジェカーノ(スペイン)  
FCノージャラン(デンマーク)・ニューヨークSC(アメリカ)

## 4 第96回天皇杯全日本サッカー選手権大会 決勝会場の件

天皇杯全日本サッカー選手権大会(以下「天皇杯」という。)の決勝は、第47回大会以降、第93回大会まで国立競技場で開催していた。しかしながら、新国立競技場の建設に伴い会場変更を余儀なくされ、第94回大会は日産スタジアム(神奈川県)、第95回大会は味の素スタジアム(東京都)において開催することとした(それぞれ2013年11月理事会、2014年11月理事会において承認)。

第96回大会の決勝については、大阪府サッカー協会と神奈川県サッカー協会がそれぞれ市立吹田サッカースタジアムと日産スタジアムを会場にすることとして主管募集にんでいた。これら2会場について、本年第2回天皇杯実施委員会(6月23日開催)において検討した結果、一度関東圏から離れる、サッカー専用スタジアムで行うことによる天皇杯のプロモーションを図ることなどから、市立吹田サッカースタジアム(以下「吹田スタジアム」という。)において開催することと結論づけた。

吹田スタジアムは、関東に次ぐ人口を有する関西に位置し、約4万人の収容能力があるサッカー専用スタジアムで、本年竣工、ガンバ大阪のホームスタジアムとして使用されている。また、モノレールやバスによるアクセスも良好であり、6月7日にはキリンカップの試合会場として円滑に運営された実績を持つ。

については、天皇杯実施委員会の結論に基づき、2017年1月1日に吹田スタジアムにおいて決勝

を開催することといたしたい。なお、2018年以降新国立競技場が使用可能になるまでの決勝会場については、2017年1月1日の吹田スタジアムにおける決勝の評価も踏まえ、天皇杯実施委員会において検討していくこととしたい。

＜第96回天皇杯 決勝＞

開催日： 2017年1月1日（日・祝）

会場： 市立吹田サッカースタジアム（大阪府吹田市千里万博公園3-3）

5 JFA リスペクト・フェアプレーデイズ 2016 の設置の件

本年もサッカーやスポーツにおけるリスペクト・フェアプレーを促進すると共に様々な差別や暴力に断固反対し、これらを撲滅する意思を強く示すため、次のとおり、リスペクト・フェアプレーデイズを設置し、この間において、リスペクトシンポジウム等の活動を実施したい。

(1) 名称 JFA リスペクト・フェアプレーデイズ 2016

(2) 期間 9月2日(金)～11日(日)

(3) 活動

① リスペクトシンポジウム

- ・ 日時 9月3日(土)14:00～17:00
- ・ 会場 JFAハウス バーチャルスタジアム
- ・ テーマ U-12年代のサッカー環境を考える
- ・ 参加者 登録指導者、登録審判員、47FA関係者、メディア (150～200人)
- ・ プログラム
  - 第1部 基調講演 田嶋幸三 日本サッカー協会会長  
全日本少年サッカー大会の取り組み  
静岡FAの取り組み

リスペクトアウォーズ表彰式 (下記②参照)

第2部 事例に基づくパネルディスカッション

\* リスペクト・フェアプレーに関するシンポジウムは、2011年以来、リスペクト・フェアプレー精神の啓発、差別や暴力の根絶活動の一環として、毎年9月初旬、FIFAフェアプレーデイズの期間に合わせ、開催してきた。

② リスペクトアウォーズ 2016 表彰式

日本各地、各団体におけるリスペクト・フェアプレー活動は様々に広く行われているが、これをJFAとして表彰するということとした。しかし2012年にSAGAWA SHIGA FCを表彰して以来、実施できていないのが現状である。

これを当初案のとおり、毎年表彰することとし、原則リスペクトシンポジウムの機会にリスペクトFC会長から表彰を行うこととしたい。

リスペクトアウォーズの詳細な内容、選定は、リスペクト・フェアプレー委員会にて協議、決定する。

- ③ 国内における様々な試合におけるリスペクト・フェアプレー活動
- ・ 試合前における両チームキャプテンによるリスペクト・フェアプレー宣言
  - ・ 試合会場における差別/暴力撲滅バナー掲示
    - \* Jリーグ、なでしこリーグ、Fリーグ、地域、都道府県リーグ等
  - ・ JFA/サッカー関係者による、差別/暴力撲滅宣言
  - ・ 法務省との人権擁護活動共同事業（ビデオ上映等）
  - ・ 地域/都道府県 FA、各種連盟における活動実施（依頼）
  - ・ 各種活動の取りまとめ、JFA として関係者あて発信
  - ・ その他

## 6 地域審判トレーニングセンター再構築の件

### （協議）資料No.2

現在、実施している「地域審判トレーニングセンター」を再構築し、地域/47FA の審判育成環境を更に充実させる。その一環として、以下を実施する。

- (1) 審判指導者の適切な養成を推進するために、地域審判指導者トレセンの見直しをする。
- (2) 地域レフェリーアカデミーを 2017 年度から各地域で実施する。
- (3) 審判デベロップメントオフィサー（RDO）を 2017 年度から地域 FA に順次配置する。

理由としては、以下の通り。

- ・ レフェリー育成・強化に不可欠な審判指導者の養成を強化する。
- ・ 地域からトップレフェリー候補の輩出機会を増加する。
- ・ 地域/47FA において、それぞれのレベルの競技会に必要な審判員の育成を充実する。
- ・ 審判指導と審判事業運営に専念できる人材である RDO を配置して、審判事業を更に推進し、JFA と地域・47FA 間を双方向での情報共有を促進する。

## 7 BLS プロジェクト立ち上げの件（池田理事）

医学委員会の傘下に、BLS(※)プロジェクトを立ち上げることとしたい。

※ BLS とは、Basic Life Support（一次救命処置）といい、急に倒れたり、窒息を起こした人に対して、その場に居合わせた人が、救急隊や医師に引き継ぐまでの間に行う応急手当のことをいう。

【本プロジェクトの立ち上げの目的】

- (1) サッカーを中心としたスポーツの現場で起こりうる生命を脅かす事象について、多くの方々に認知してもらう。
- (2) 救命救急の処置方法を周知徹底し、その実行策を普及する。
- (3) 具体的には、CPR（心肺蘇生法）の実践と、AED（自動体外式除細動器）の使用方法について習得できるような機会（BLS ライセンス講習会）の創出を検討する。

本目的を達成するために、JFA 主催の BLS ライセンス講習会開催の企画をし、命の重要性、そしてそれを皆で守ることの必要性をあらためて訴求するとともに、全国各地で BLS ライセンス講習会を受講できるよう調整を行う。受講者としては、医師、看護師、トレーナー等の医療従事者

に限らず、指導者、審判員、選手、保護者等選手の身の回りにいる方々に対して積極的に呼びかけていくこととする。BLS ライセンス制度体系およびライセンス講習会の開催要項については、あらためて理事会にて協議するものとする。

【BLS プロジェクトメンバー構成】

リーダー : 田中 裕 医師 順天堂大学浦安病院 救急診療科 (救命救急センター長)  
 メンバー : 岡本 健 医師 順天堂大学浦安病院 救急診療科 (救命救急センター)  
 松田 繁 医師 順天堂大学浦安病院 救急診療科 (救命救急センター)  
 谷 諭 医師 東京慈恵会医科大学 脳神経外科/医学委員  
 大橋 洋輝 医師 東京慈恵会医科大学 脳神経外科  
 島田 和典 医師 順天堂大学 循環器内科/医学委員  
 福島 理文 医師 越谷市立病院 循環器内科  
 古家 信介 医師 市立豊中病院 小児科

※ メンバーは随時追加になる可能性あり

8 2016 年度 功労賞の件

地域 FA 及び都道府県 FA から申請があった以下の方に、功労賞を授与したい。  
 なお、受賞者には、例年通り、賞状及び盾を贈呈したい。

※対象者

- (1) 地域 FA 及び都道府県 FA の三役（会長、副会長、専務理事及び理事長）を退任された方
- (2) 地域 FA 役員を退任された方(役員歴 20 年以上) : 各地域 FA で年度毎 2 名以内

No.	FA	氏名	前(元) 役職
1	関西	高見 豊	会長
2	関西	辻 浅夫	会長
3	関西	馬越 敏行	副会長
4	九州	藤家 澄夫	副会長
5	青森県	十文字 敏雄	副会長
6	青森県	工藤 清勝	副会長
7	山形県	牧 静雄	副会長
8	山形県	松田 博之	副会長
9	千葉県	倉田 寛之	会長
10	千葉県	大野 辰巳	専務理事
11	神奈川県	宇野 勝	会長
12	福井県	金井 兼	会長
13	福井県	小藤 幸男	副会長
14	三重県	高井 幸郎	副会長
15	大阪府	山野 喜弘	会長

	16	広島県	柳原 英児	副会長	
	17	広島県	三桝 博恵	副会長	
	18	香川県	山下 憲一	会長	
	19	香川県	熊野 實	副会長	
	20	香川県	小野 純一	専務理事	
	21	徳島県	藤田 明	会長	
	22	徳島県	阿戸 孝夫	副会長	
	23	高知県	竹崎 謙	会長	
	24	長崎県	造酒 星市	副会長	
	25	鹿児島県	森山 裕	会長	
	26	鹿児島県	平川 欽也	会長	
9	各種委員会委員及び部会員選任の件				
	<p><b>(協議) 資料No.3</b></p> <p>社会貢献委員会に3名委員を追加したい。</p>				
10	財務委員会 委員交代の件				
	<p>以下の通り、財務委員を交代したい。羽深委員の辞任に伴う交代である。</p> <p>現) 羽深 茂樹 (はぶか しげき)</p> <p>新) 平嶋 彰英 (ひらしま あきひで) / 総務省 自治大学校長</p>				